

第4回 内閣府独立行政法人評価委員会 議事録

大臣官房政策評価官室

1. 日 時：平成14年1月30日（水） 13：30～14：30
2. 場 所：内閣府庁舎5階特別会議室
3. 出席委員：大森委員長、朝倉委員長代理、小野委員、出塚委員、東海委員、外園委員
4. 議事次第

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構に関して

(1) 中期目標（案）

(2) 中期計画（案）

5. 議 事

資料1に基づき独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構中期目標（案）を富永防衛施設庁労務部長が説明

<質 疑>

大森委員長 ありがとうございました。最初に御紹介いただきましたように、各委員からいろいろ御意見が出まして、それを踏まえて文章の修正等させていただいて、目標案が本日提示されていますので、それを前提にしていろいろ御意見を交換をしていただければと思います。どなたからでも結構でございますので、お気づきの点があればお出しただければと思います。

東海委員 経費の抑制について1%という基準を定められたというのは、高いか低いかわかりませんが、他の独法の現在の状況から比べますと、それなりに適切な指標だろうという気がしております。ただ、独法を設置したという内閣の目的というのは、1つは所期の目的といたしまししょうか、質の向上ということを目ざしていると同時に、ここにも書かれておられますように、業務運営の効率化ということが大きな目的になっているかと思っております。したがって、1%という数値が上限目標ということではなく、できるだけこの目標を達成し、さらに高い効率化がはかれるように、初年度といたしまししょうか、4年間の最初の目標でございますから、なかなか厄介な問題があるのかと思っておりますけれども、そういった意識でもって、この目標をお考えいただくということをお願いしたいと思っております。

大森委員長 1%を抑制するというのが、ここに載っている意味をできるだけ積極的に解釈をして、1%を超えるならば、それはそれとしていいことですが、1%に留まればいいと

いうふうに消極的にお考えにならないで、できるだけ努力をしていただくというふうを読む、読めるという御意見ですのもっともではないかと思います。表現はこれでよろしいでしょうか。

東海委員 結構だと思います。

大森委員長 その上の公租公課、これはどこかに出てくるのですか。固定経費のことなのですか。税金用語でしょう。死語ではないと思うのですけれども、普通この表現を使うのですか。

外園委員 固定資産税を納めるときに、公租公課という用語が出てきます。

朝倉委員長代理 恐らく、役所の外にはない言葉ですね。

東海委員 いえ、企業会計では、会計上の勘定科目としては、公租公課もしくは租税公課という言葉は使っております。恐らく、独法の会計基準にはどう出ているか、ちょっとまだ確認しておりませんが、それなりの意味は持っているとは私は理解しております。

外園委員 一般にはなじみが薄いと思われそうです。

朝倉委員長代理 先ほど御意見の中で国民にわかりやすい言葉でというような意味から言えば、これは新聞でも使わない言葉ですね。

大森委員長 使わないですね。「固定的経費を除く」というだけでは、不正確になるのですか。

富永防衛施設庁労務部長 一般管理費の中に公租公課、先ほども例として申しあげましたような内容が含まれており、それは削減しようにも義務的な性質を有しておりますので。

大森委員長 公租公課等の固定費にというふうに言わないと厳密にならない。

富永防衛施設庁労務部長 「公租公課等の」というのを入れるということでございますか。

大森委員長 入れないと厳密になりませんか。固定的経費と一般管理費が対比されていて「固定的経費を除く」これは要りますでしょう。そうでないと大変ですからね。

富永防衛施設庁労務部長 そうですね。他の既に立ち上げられております法人の例の中に、一般管理費（人件費、公租公課等の固定的経費を除く）という使い方をしております。

大森委員長 こだわりませんが、何か余り……。

出塚委員 公租公課と最初に出るからでしょうね。会計的に言うと、一般的な用語で使われているのだけれども。

外園委員 やはりこれは長い目で見れば、一般の人々にもわかりやすい言葉にしてほしいと思います。私も役所に行って公租公課の書類をくださいと言いますが、詳しいことはわかりません。

大森委員長 封建時代の名残のような響きですよ。この前の「何とか出せ」というものと似ていて。

出塚委員 なくてもいいかもしれない。

大森委員長 不明確でなくて、固定的経費を除く一般管理費について、1%できちっとそれで不正確でなければ言うことはない。

出塚委員 固定費の中の1つの例示を先に出したという、そういう感じです。

大森委員長 それならば、分かりやすい例示を1つ置いていただいたらどうですか。人件費とか、何かそういう例示を。

富永防衛施設庁労務部長 人件費はこの中に含んでおります。

大森委員長 固定的経費の「等」の中に入っていますか。

富永防衛施設庁労務部長 固定的経費を除く部分として入っております。

出塚委員 一番大きい金額になるのは人件費になるのでしょうかね。

加藤防衛施設庁労務調査官 一般管理費の中には人件費、そして物件費もございまして、その物件費のうち、非常に極めて金額が少ないものですから、そこで全部が経費抑制の対象になりますと窮屈な思いになりますので、そこで固定的な義務的経費は何とか除いていただいて、人件費と固定経費を除く物件費というふうな抑制の表現とさせていただきます。今、御議論ございましたので、もう一度表現ぶりにつきましては検討させていただきたいと思います。

大森委員長 私自身は気がついたわけですからこだわっていません。このまま残していただいてもいいのですけれども、なるべく分かりやすい表現の方がいいかと思って言っただけですから、もしこれで良ければこれでおさめてしまいますけれども、もし不正確にならないで直し得る方がよければ、そうやって直していただく方がいいかなと思います。

加藤防衛施設庁労務調査官 事前に財務省に相談しておりまして、先行57法人の例も考慮し、この表現ということで、委員の御意見もいただいてというお話であります。

大森委員長 そういう会計のことをおやりになっている人は、そんなに不思議じゃないかと思うのですけれども、どうでしょうか。

出塚委員 固定的経費と言えば、当然にそういうことなのですね。

東海委員 ただ分かりやすさといえますと、逆に、税金を我々が抑制するということは無理なのですね。与えられたものですから。そういう意味で一番分かりやすいというのは私どもとしては非常になじみやすいということで。

出塚委員 義務的経費としてね。

東海委員 そうですね。

外園委員 事務の方々と委員長にあとのことは全部お任せするということがですか。

大森委員長 余りこういうことを気がついて言っちゃいけないかな。でも、なるべく分かりやすく。私はこの表現でそのままでもいいと思うのですけれども、もしかりに、若干直し得るものであって、いろいろと財務省とのやりとりもございますから、無理なくて正確に直し得るのだったら直していただいて、それを預らせていただくということによろしいですか。本日は一応これで行くというふうに決めさせていただくということで。他の点で何か御意見ございますか。大体、この中期目標につきましてはよろしいですか。

(「異議なし」と声あり)

資料2及び資料3に基づき独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構中期計画(案)等を加藤防衛施設庁労務調査官が説明

<質 疑>

大森委員長 ありがとうございました。今、御説明を受けましたこの中期計画(案)について何か御質問、御意見等ございますか。

小野委員 全体として非常に具体的に計画をお書きになるのはよろしいのですが、例えば2ページ目の右側の(4)の上から4行目ぐらい、一括購入や割引制度の利用により契約単価の削減を図る。これは大口で買う時は普通みんなこういうふうにやりますね。だから、今までやってなかったのかということになるのですか。

加藤防衛施設庁労務調査官 これまでの各都県におきまして、国から経費の示達に基づき、都県の渉外労務管理事務所単位でそれぞれやっております、一括購入だとか、一括集中管理というのはとりにくいものであり、各都県単位で購入して保管して業務を展開しております。

大森委員長 これは新しい機構になって初めて可能になるやり方なのですか。

加藤防衛施設庁労務調査官 予算的な面で大変窮屈な面もございまして、要求に対して按分してやっておりますけれども、一体その在庫がどのくらいあって、その過不足がどうなんだというふうなことは、なかなかつかみきれないというのが実態でございます。

大森委員長 普通お読みになると、「今までやってなかったのか」というから、本当は、今のようことがわかるためには、一言、従来都県でやってできなかったことを今回できると書いてくだされば、変わるなということが分かりますね。明確になりますよね。ありがとうございました。他に何かお気づきの点ございますか。

朝倉委員長代理 そうすると3ページの2の(2)の制服及び保護衣についても、今までは都道

府県でやっていたということなのですか。それを転換するまでに手間暇かかって中期目標期間の終期までかかりそうだと。

加藤防衛施設庁労務調査官 4年間でどういうふうに業務展開して整理していくか、まず実態を洗って、目標としては改善策といいますか、最終年度までには何としても構築して、それが少しでも早まればそれでいいのですけれども、まず仕組みがどうなって、実態がどうで、本当にそれだけ時間がかかっているのか、そこの分析をまず立ち上げて、できるだけ中期計画の期間内に改善効果を見出ししていきたいと思っております。

朝倉委員長代理 実態というのはちょっと見当つかないものですから、読みますと、制服や保護衣を貸与するのに、どうしてこんなに6か月もかかるとか、それを改めるのに3年も4年もかかるとかというのがちょっとピンとこないのですが、それから、当局の方も実態がよく分からないということですね、これからやるということ。

加藤防衛施設庁労務調査官 1つ考えますのは、米軍のいわば労務要求といいますか、これは頻繁になっておりますので、毎月の単位で出てきます。多分現地としましては、ある程度まとまってその品目がわかって、新規要求を発注して国からの予算要求もありますけれども、そういった手続きが頻繁に、国の場合は年度採用とか、年に1回とか2回になってますけれども、米軍の場合は、その都度欠員が出た場合に労務要求しますので、そこである程度一括して、まとまった品目で購入ということで時間がかかっているのかと思います。それで、できるだけ米軍からも早めにその動きがわかりましたら、労務要求の中味につままして検討して、立ち上がりを早くするということだと思っておりますけれども。

出塚委員 これはシステムをつくるということと、でき得る限り早期に導入してもらいたいという意味だろうと思うのです。確かに相手の状況、それから自分のところに置かれた状況がまだ分かっていないということがあると思うので、その辺のところは少し時間がかかるのかなという気がするのです。しかし、終期までというのはちょっと時間がかかりすぎかなあと思います。

朝倉委員長代理 時間がかかり過ぎなのか、そうじゃないのか、その実態が分からないというのだからしかたがない。

加藤防衛施設庁労務調査官 米側の要望も大変強うございまして、これは何としても、早めに立ち上げていきたいと思っております。

朝倉委員長代理 例えば平均6か月かかるとすれば、6か月間は実際に勤務していても制服も保護衣も無いということですか。

加藤防衛施設庁労務調査官 退職したもので耐用年数があるものは、洗濯しまして、それをまた貸与します。新規要求に時間がかかっておりまして、耐用年数がそれぞれの品目毎に決まっております。最大7年で消耗品の類は1年でありますけれども、できるだけ新規でもって応じたんですけれども、そのほか一部本人の負担もあるやに伺っておりますが、大体古い物をそのままクリーニングに出し、再使用されております。

大森委員長 この計画は終期までには導入すると約束をするということですね。

出塚委員 中期計画の予算というのは、他の独立行政法人もこういうスタイルでまとめているのでしょうか。

加藤防衛施設庁労務調査官 そうです。

大森委員長 ここは何か他に活動して収入を得るということはなくて、大変なのです。

出塚委員 独立法人の場合には、使った部分が入ってきて終わりというスタイルになるからこうなるのでしょうかね。

大森委員長 だからもし効率化するとしたら、さっきの一般管理費みたいなところをできるだけ上げる以外には、なかなか方法が見つかりにくいですよ。

出塚委員 効率性をどうやって見つけるかというのは大変に難しい問題ですね。

加藤防衛施設庁労務調査官 円滑な引継がまず第一でございまして、その後、移行事務に影響ないように何とか新しいメンバーで立ち上がると、その間、中期計画の内容につきまして、やはり法人制度の目的であります効率化・減量化というのは大命題でございますので、これを何とか追求したいというふうに考えております。

大森委員長 従来の体制が直轄方式になった時に、従来と比べてこんなふうにある指標ではなかったら効率が上がるものだということが、どこかである段階で出てくれば、この一連の制度改革と今回のこの法人化に意味があったということになりますね。余り従来と変わらなかったということになると、やりやすくなったということもあるのですけれども、どっかでそういうメリットがあるのだということが出てくるということを期待しながら、この計画で断固やっていただくということですね。

加藤防衛施設庁労務調査官 それを踏まえまして、何とか引き継ぎをうまくやりまして、今度本部・支部というふうなそういう組織体になりますので、ある意味では効率化・減量化もできるのではないかとこのように感じております。

大森委員長 他に何かお気づきの点ございますか。

東海委員 全く形式的なことで確認だけでございますけれども。

大森委員長 どうぞ。

東海委員 別紙 1、これは 4 ページでしょうか、中期計画予算は収入から支出を引くという形をとられておりながら、別紙 2 と別紙 3、これは出塚委員が御専門かもしれませんが、費用が先に来まして、収益で、資金計画の企業会計一般は資金収入が先で、資金支出が後なのだろうと思うのですけれども、他の独法も皆同じ形式を採用しているのですか。

出塚委員 独法の会計基準がコストの計算書をそういうふうにつくったものですから、いいかどうかは別にして、基準に沿っていくとこうなってきますね。

加藤防衛施設庁労務調査官 ちょっと確認したのですけれども、一般企業と独法の違いと申しますか、考え方が決まりはないのですけれども、独立行政法人の場合には、収益の獲得を目的としているのではなくて、行政サービスの提供が目的であることから、まず必要な行政サービス（費用）を見込み、それに見合う運営交付金（収益）はいくら必要かということで、費用の方が上にきているというふうな説明を受けまして、そういうことかなと思います。

東海委員 ここはそうなのですけれども、他の独法では、逆に収益の部分が先行するような独法もないわけじゃないのです。ですから、何となくこれは我々から見ると逆になじみがないですね。コストありきというで、前の国家の財政と同じ考え方になってしまうというような、これはやはり、独法をつくった設置趣旨とすると、随分違った感覚を持たれるかもしれない。また、形式的なことでございますが。

大森委員長 この形式を今のように、最初に収益の部というか、収益というか、収入の方を先に掲げて別にも悪いわけじゃないのでしょうか。こんな細かい形式について何かどっかから御指導受けることないのでしょうか。

加藤防衛施設庁労務調査官 中央省庁等改革推進本部事務局からお示しいただいている様式にもとづいて 57 法人が先行して整理しております。

大森委員長 知らないうちにやってしまう。常識的なやり方でね。注意を受けたら、あっそういうものだったかと変えるという手もあるのだけれども、普通に考えたらそうですね。今、先生がおっしゃっているようにね。でもまあ、今回はこの独法をつくったときのいきさつがあって、こういう並べ方にしようということに、どこかでなったのでしょうかね、多分ね、議論があって、よろしいですか。この方式でいくということで。他に何かお気づきの点ございますでしょうか。よろしいでしょうか。よろしければ、大筋の内容については、この目標案と計画案でいっていた

だく、若干一、二ございますけれども、大筋、本日この内容について、私ども、本日の限りで了承いたしましたして、次回にこれを受けた先ほどのあと3点ございますので、その際もう一度全体としてどうなったかと御説明を受ければ、それでよろしいと思っておりますので、そういうお手配でよろしく願いたいと思います。

それから、お手元に第3回の議事録がございまして、一応必要な調整終わってございますので、よろしければこれで公表させていただきますけれども、よろしいですか。

それでは、事務方これで公表していただくということです。本日は以上で議題は終了でございます。なお次回でございまして、3月15日金曜日、10時からこの部屋で開催いたしますのでよろしく願います。なお、皆様方に御連絡申し上げますけれども、引き続き第1回の国立公文書館分科会を、この後直ちに予定してございますので、引き続きお願い申し上げます。それでは、本日はこの会議は以上でございます。ありがとうございました。

(了)